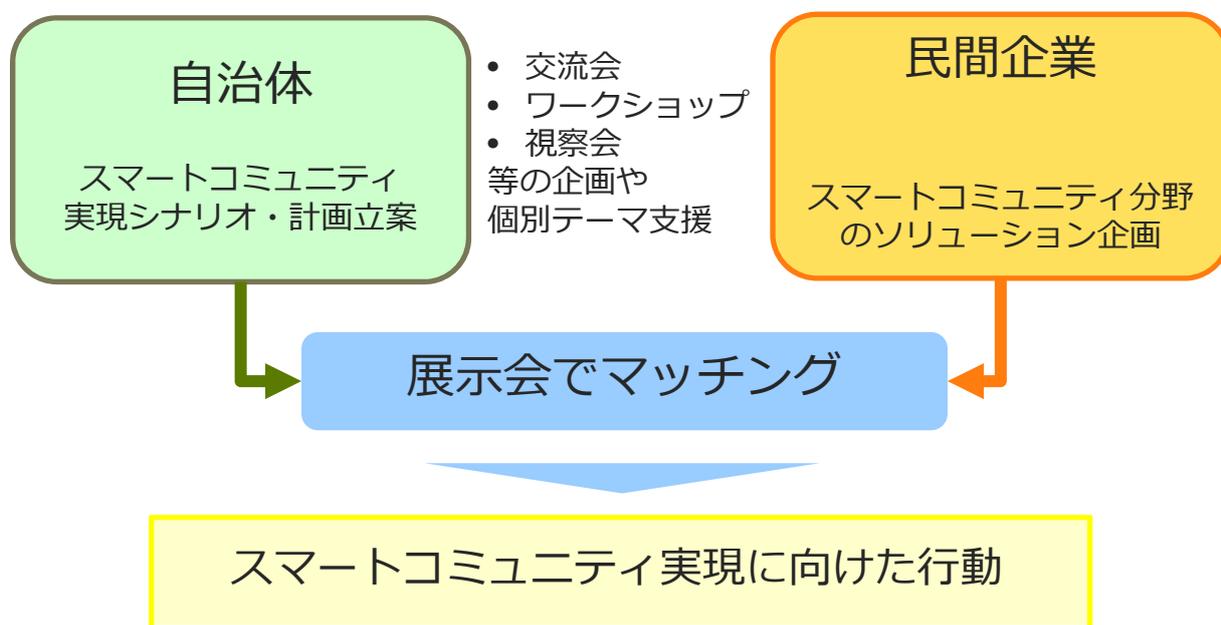


スマートコミュニティ 実現支援プロジェクト

スマートコミュニティ実現支援プロジェクトとは、これからスマートコミュニティ実現に取り組む基礎自治体の皆様が具体的な行動を起こす為に無理のない現実的な実現シナリオ並びに計画立案をし、その実現に向けた最適なソリューションを民間企業が提案するための支援を提供するものです。



主催

 日刊工業新聞社

 JMAC 日本能率協会コンサルティング

【自治体向け】スマートコミュニティ推進プログラム

再生可能エネルギーを含めたエネルギーを効率的に活用する社会（以下スマートコミュニティ）実現に向けた検討が全国の自治体において本格化しております。また民間企業ではスマートコミュニティを実現する製品やサービスの開発が進んでいますが、企業の多くは技術志向が強く、提案がコミュニティの課題解決策（ソリューション）ではなく、自社の提供可能な商品（製品・サービス）の提案に留まりがちです。

そこで本プログラムでは、「自治体が本当に求めている地域課題を解決するソリューション」の検討を行い、日刊工業新聞社主催の展示会において検討結果の発信と、民間企業のシーズの摺りあわせを効果的に行うことを目的とした内容となっております。

STEP1

セミナー 受講

解決したい地域課題の
明確化及びスマコミの
ありたい姿の検討

セミナープログラム

- スマートコミュニティ最新動向
- ワークショップ
- 個人演習
- まとめ

STEP2

展示用 パネル 原案作成

展示用ポスター作成の
ための要件明確化

自地域の現状を再確認し、
今後の取り組みを明確にします

- 地域の特徴
- 地域課題と取組み
- 活動推進上の問題
- 企業に対する期待

STEP3

展示会 出展

展示会にて民間企業
とのマッチング

検討結果をパネル展示し、民間
企業からのアイデアを募ります

- ポスターの展示
- 企業からの提案受け入れ

STEP4

提案 受付

民間企業から提案を
受ける

展示ポスターを見た企業が興味
のある自治体に自社ソリュー
ション提案書を提出します

- 提案内容を確認し、必要に応じ
話し合いの場をセッティング

【民間企業向け】スマートコミュニティ推進プログラム

企業毎にスマートコミュニティ実現に向けて、地域課題の解決に各企業の製品・サービスがどのように貢献できるのか、ソリューション内容を検討し、検討結果を展示会にてパネルで展示します。

検討会
第1回

地域課題の明確化

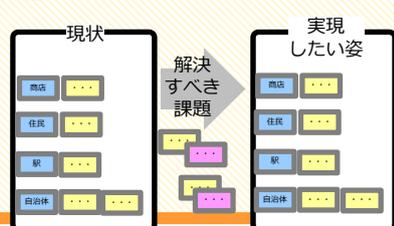


検討対象地域の設定し、
地域が抱える課題を
明確にします

- 検討対象地域の設定
- 地域課題の抽出

検討会
第2回

課題へのソリューション構想

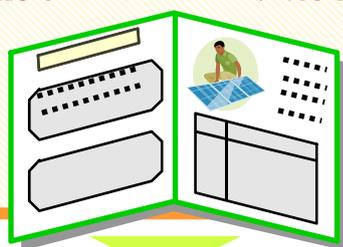


地域課題をどのように
解決するのかを構想します

- ソリューション案の検討
- 自社製品・サービスの顧客価値明確化

検討会
第3回

訴求ポイントの具体化



地域課題に対する
ソリューションをどのように
アピールするかを検討します

- 効果的な展示・紹介方法の検討
- 出展パネルの作成

展示会

自治体への提案



展示会の出展ブースにて
検討内容を展示します

- 出展ブースにて検討内容の展示
- 自治体に対して、検討内容を
日本能率協会コンサルティング (JMAC)
を介して提案

フォロー

自治体と民間企業 の出会い

自治体の反応を
フィードバックします

- 提案内容に対する見解を集約・フィードバック
- 見解が合えば自治体と民間企業とで検討開始

これまでの主なプロジェクト活動

プロジェクトキックオフセミナー

2013年12月13日(金) 東京ビックサイトにて経済産業省、基礎自治体の方を講師に招き、スマートコミュニティ実現支援プロジェクトのキックオフ的位置づけのセミナーを開催しスマートコミュニティ実現に向けた推進上の課題の共有と参加者同士の交流を図りました。



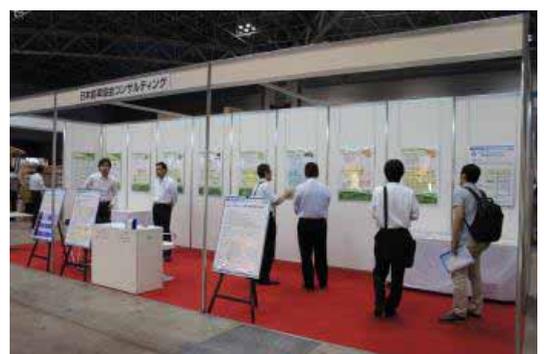
先進取り組み地域視察会&ワークショップ



2013年3月12日(木)、13日(金) 宮城県仙台市、黒川郡大衡村にてスマートコミュニティ構想ワークショップならびに先進取り組み地域の視察会を実施しました。視察先の“グリーンコミュニティ田子西”ならびに“Fグリッド(第二仙台北部中核工業団地)”では、エネルギーマネジメントと地域活性化の具体的な取り組みについて実際に見て聞くことができ、参加された自治体や民間企業の方々はスマートコミュニティの具現化した姿をイメージアップすることができました。

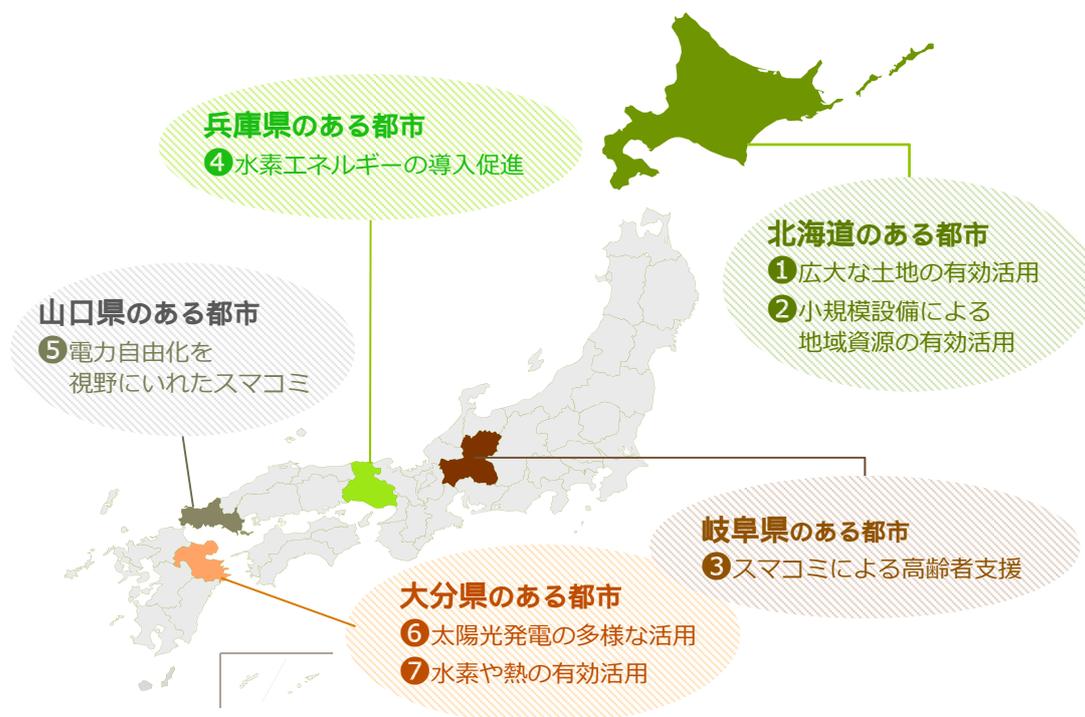
スマートコミュニティセミナー&展示会パネル出展

2014年5月8日(木)、16日(金) 大阪、東京の弊社セミナー会場において、自治体の方限定のスマートコミュニティ推進課題検討セミナーを開催し、その検討結果を2014年6月18日(水)~20日(金) 東京ビックサイトにて開催の展示会：スマートコミュニティJapan2014(日刊工業新聞社主催)にパネル出展を行いました。また、これらのパネルをご覧いただいた民間企業の皆さまから、各出展自治体の抱える地域課題や検討推進上の課題についてのソリューション(解決策)の募集を行いました。結果、いくつかの企業から応募があり、提案内容を弊社を介し、出展自治体に提示し、応募企業にはコメントをフィードバックし、双方から今後のスマートコミュニティ実現や事業化の参考なるとご好評をいただきました。



スマートコミュニティJapan2014 展示内容

地域のスマコミ推進課題として、下記の7つの課題をご紹介しました。



基礎自治体や地域におけるスマートコミュニティのありたい姿として、地域にて優先的に解決すべき、あるいは解決したい中長期の課題解決策及びその課題解決に際したエネルギーの有効活用の検討が各地で始まっています。

展示ブースをご覧になった方の声

約150名（自治体：約30名、民間企業：約120名）の方に展示ブースへお越しいただき、地域のスマコミ推進課題の内容やスマートコミュニティ実現支援プロジェクトの紹介を興味深くご覧になりました。

本取組みに対する関心は非常に高く、地域が抱えている課題を具体的に知る機会はありません非常に参考になる、地域の課題解決策をぜひ検討してみたい等の声を聞くことができました。

具体的なコメント例

【民間企業の方】

- ◆非常に面白い取り組みですね。
- ◆自治体は何をやりたいのか分からない
- ◆地域のニーズ想定が難しい
- ◆上手くスマートコミュニティの検討が進みません

【自治体の方】

- ◆県から見ると市が動かない
- ◆市から見ると県が動かない
- ◆県間の交流が必要である

スマートコミュニティ実現支援プロジェクト ～これまでの全取組み実績～

初心者向け

- 2013年5月30日開催 日刊工業新聞社主催スマートコミュニティJapan2013 併催イベント
初心者向けスマートコミュニティセミナー～事業化成功に向けたポイントと交流ワークショップ～
- 2014年6月20日開催 日刊工業新聞社主催スマートコミュニティJapan2014 併催イベント
初心者向けスマートコミュニティセミナー
- 2014/10/16(木) 日刊工業新聞社主催 モノづくりフェア2014併催(福岡開催)
スマートコミュニティセミナー～スマートコミュニティ実現のポイントを学び、
検討の視点を体感する

自治体向け

- 2014年5月8日開催 日刊工業新聞社、JMAC主催(大阪)
自治体職員向け特別セミナー「地域課題解決のためのスマコミ活用術とは」
- 2014年6月19日開催 日刊工業新聞社主催スマートコミュニティJapan2014 併催イベント
自治体スマコミ交流会～スマートコミュニティ推進課題の明確化～
- 2014/8/1(金)(福岡開催) 2014/8/19(火)(東京開催)
<自治体職員向け> 地域課題解決のためのスマコミ活用術とは

民間企業向け

- 2013年8月27日開催 日刊工業新聞社、JMAC主催(東京)
<新事業立案セミナー> スマートコミュニティ実現に向けたビジネススキーム検討の進め方
- 2014/9/3(水)から全3回
<民間企業向け> スマートコミュニティ推進プログラム
～地域課題に着目しスマートなソリューションを提案する～

自治体と民間企業の交流

- 2013年12月13日開催 日刊工業新聞社、JMAC主催(東京)
スマートコミュニティセミナー<自治体×民間企業>スマコミ実現のためのニーズ&ソリューションを考える
- 2014年3月12日開催 日刊工業新聞社、JMAC主催(仙台)
<自治体×民間企業 本気の連携へ> スマコミ実現ソリューション構想ワークショップ&視察会 in 仙台
- 2014年6月18～20日開催 日刊工業新聞社主催スマートコミュニティJapan2014
出展ブース 日本能率協会コンサルティング『地域のスマコミ推進課題』
- 2014/10/15(水)～17(金)(福岡)
日刊工業新聞社主催 モノづくりフェア2014
出展ブース 『地域のスマートコミュニティ推進課題』
『企業からのソリューション提案』



今後の展示会情報

防災産業展 in 仙台
会期：2015年3月15日(日)～17日(火)
会場：夢メッセMIYAGI
主催 宮城県、日刊工業新聞社

スマートコミュニティJapan2015
会期：2015年6月17日(水)～19日(金)
会場：東京ビックサイト
主催 日刊工業新聞社

エネルギーの有効活用と地域課題解決は 一朝一夕には実現しない。出会い、そして

地域の課題解決に向けてエネルギーを有効活用しようとする自治体やエネルギーに関わる事業化に取り組む企業が急速に増えてきています。しかしながら、エネルギーを利用する地域にとってのメリット、すなわち地域の課題解決を十分に検討せずに進めたことによって思わぬ壁にぶつかるケースが散見されます。そこには、地域住民を巻き込んだ検討が不十分であったり、実現する手段や体制が未成熟であったり、様々な要因があります。

これらのケースに共通した問題は、これからのまちづくりと密接に関係するエネルギーの有効活用と地域課題解決の検討について、議論の時間が不足している点が挙げられます。これは、助成金の有効期限や企業の事業計画を優先するあまりに起こるケースが多いようです。

すなわち

エネルギーの有効活用と地域課題解決は、1～3年といった 短期間で実現するのは難しい

と認識し、時間をかけ検討する方法を考える必要があります。一部の関係者のみであるべき姿を描き、体制を組み進める従来のやり方はあまりお勧めできません。

そこで、まずは、エネルギーの有効活用と地域課題解決に真剣に取り組みたい自治体と本領域で長期に渡り腰を据えて事業化を本気で推進したい民間企業が出会い、ソリューションを検討することが重要と私たちは考えます。

以上の認識に立ち、本プロジェクトを通じて、年間を通じた展示会を出口とした自治体と民間企業のマッチングならびに各地域における優先課題解決とエネルギーの有効活用の同時実現に向けた各種支援を実施してまいります。

スマートコミュニティ実現支援プロジェクト 実施会社概要

日刊工業新聞社

弊社は、事業の一つとして展示会を開催する専門部署（業務局イベント事業部）を有し、産業見本市を全国で開催しています。なかでも、2010年には「スマートグリッド展」として国内では初の専門展示会を開催し、現在は「スマートコミュニティJapan」と改称し、エネルギーインフラを中心とした新しい街づくりのための展示会を開催しています。

株式会社日刊工業新聞社
業務局 イベント事業部 担当 石川 暁史
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
電話 03-5644-7221 FAX 03-5641-8321
Eメール akifumi.ishikawa@media.nikkan.co.jp
スマートコミュニティJapan2014ホームページアドレス；
<http://www.nikkan.co.jp/eve/smart/community.html>

日本能率協会コンサルティング

弊社は、1980年に社団法人日本能率協会より分離独立し経営コンサルティング事業を行っています。1942年の社団法人設立以来、日本の産業振興をミッションとし、主に製造業を対象とした経営革新に貢献してきました。2012年より、成長産業の発展に寄与すべくエネルギー産業支援チームを立ち上げ、現在に至るまで最新情報の収集・発信・交流の場づくり並びにコンサルティング・教育支援を推進しています。

株式会社日本能率協会コンサルティング
企画営業本部 チーフ・コンサルティングプランナー
江原 央樹
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目1-22
電話 03-3434-0982 Fax 03-3434-2963
E-mail ; hiroki_ehara@jmac.co.jp
エネルギー産業支援ホームページアドレス；
<http://www.jmac.co.jp/special/energy/>

本資料に関するお問合せ先

株式会社日本能率協会コンサルティング 企画営業本部
エネルギー産業担当 江原

〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目1番22号 日本能率協会ビル1階
TEL : 03-3434-0982 FAX : 03-3434-2963 E-mail: energy_jmac@jmac.co.jp

エネルギー産業向けホームページ <http://www.jmac.co.jp/special/energy/>